

事業所名

風の子デイサービス

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

3 月

21 日

事業所理念		<ul style="list-style-type: none"> ①本人主体、②家族支援、③ライフサイクル支援の3点を基本に、子どもの主体性を尊重した支援を大切にします。 事業所と家庭が協力する関係を築き、子どもにとって、安心できる環境や関わりのあり方を保護者と共に考えます。 						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 大人との基本的信頼関係を基盤に、子どもが人とのやりとりを通して自分の気持ちや意思を伝え、自尊感情や自信をもって、生活できることを大切にします。 子どもの全体像を把握し、対人関係、コミュニケーション、言語、認知、表現、運動、などの領域がバランスよく調和し、成長できるように支援します。 						
営業時間		9 時	0 分から	17 時	45 分まで	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣について、自立の程度、介助の必要性と受け入れ方、意欲の有無などを保護者から聞き取り、健康や生活などの本人の様子を家族と共有する。 必要に応じて、医療機関と連携する。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 同法人の園庭や近隣の公園で鬼ごっこやかくれんぼ、滑り台、散歩など、楽しみながら身体を動かす。 粘土遊びや紙やぶり、製作等でノリやハサミを使うなど、手先の感覚を養う。 水遊び、砂遊びなど自然の素材を使って遊ぶ。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 「大人と一緒にすること」を通して共にすることの楽しさを十分に経験し、身近な人を通して、物のあつかい方や物事を学べるように援助する。 数字、文字、音楽、創作、クッキング 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの感情、要求、興味に注意、関心を払い、微妙な表情に丁寧に応答する。 自分の思いや経験を上手に表現できるように、本人の話や訴えに耳を傾ける。 子どもの意思やつもりを尊重し、自信をもって「イヤ」の意思表示ができるように、自己主張する力を育てる。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○身近な大人が心の支えとなる、人間関係を築く。 ・いけないと言われることを敢えてする場合には、子どもの立場に立ってその行動の意味を理解するように努める。 ・表面的な行動を叱るばかりにならないよう留意する。こちらの態度や、対応を見直し、気づかないことや思い違いがあることが分かれば、率直に謝る。 ・困った時の不快、不安、不満を大人に伝える。特定の大人を頼る、手助けを求める。 ○友だちとやりとりする経験を積む。大人が本人の思いを相手に伝え、本人に周りの状況を伝えるなど、子ども同士の橋渡しをする。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・グループ相談や個別相談で本人や家族、きょうだいの相談にのる。 ・個別相談では保護者の不安や心配に耳を傾ける。保護者が子どもの理解を深め、余裕をもった子育てができるように支える。 ・グループ相談では個々の経験を出し合う。他の人の有効な経験を活用する、経験を蓄積するなど、保護者のつながりを作る。 ・家族が子どもの成長を支える理解と支援の視点を共有する。 ・冊子『視点』を使っての勉強会を行う。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就学の悩みを聞く。 ・保護者の了解の基、学校の教育相談等で話し合いや情報提供をする。 	
地域支援・地域連携		関係機関と支援会議等を持ち、情報や支援課題の共有に努め、連携する。 (保育園、幼稚園、区役所、相談支援事業所、他事業所、医療、学校)			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉、対人援助、発達など、支援の実践に役立つように積極的に学び、専門性を養うことを目指す。 ・自然に親しみ、感性を磨き、人格を陶冶する。 ・職員相互の信頼関係のもと、互いに研鑽し合い、支援の向上を図る。 	
主な行事等		・丹波遠足(春・夏) ・比良キャンプ(湖水浴) ・秋祭り ・季節の行事						